

第10部

南部・東部の振興

- 182 県内の過疎地域
- 183 人口の社会増減
- 184 就業率
- 185 污水处理人口普及率
- 186 持ち家比率
- 187 人口10万人当たりの病院病床数(南部・東部)
- 188 観光客数
- 189 延べ宿泊者数





県内の過疎地域

南部・東部の過疎地域は県全体の総土地面積の77.5%



南部・東部の過疎地域は、南部の2市3町9村と東部の1市3村とあわせて18市町村あり、県全体の総土地面積の77.5%を占めています。
また、南部・東部の過疎地域の総土地面積のうち、88.3%が林野となっています。

過疎地域自立促進特別措置法に基づく南部・東部の過疎地域は、大淀町を除いた18市町村となっています。

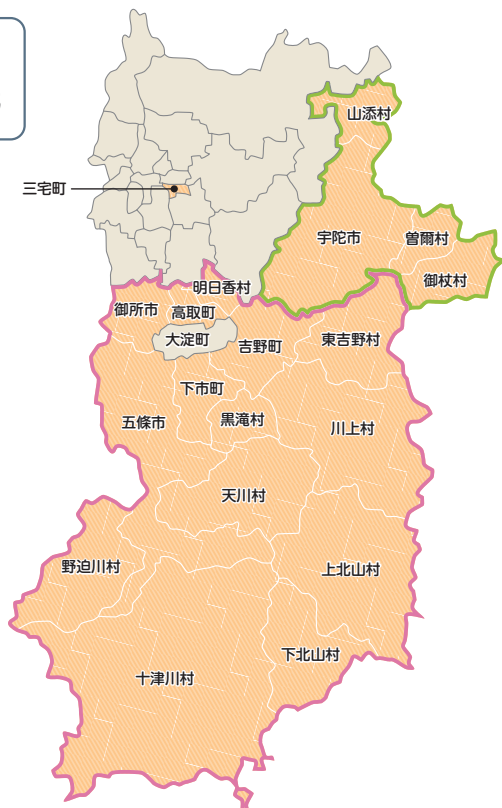
県全体の総土地面積に占める過疎地域の総土地面積の割合は77.6%です。過疎地域の99.9%を大淀町を除いた南部・東部地域が占めています。

県内の過疎地域

資料：農林水産省「2020年農林業センサス」

— 南部 — 東部 — 過疎地域

南部・東部の
過疎地域のうち
88.3%が林野





人口の社会増減

人口の社会増減の減少率は、南部、東部ともに県全体より大きい



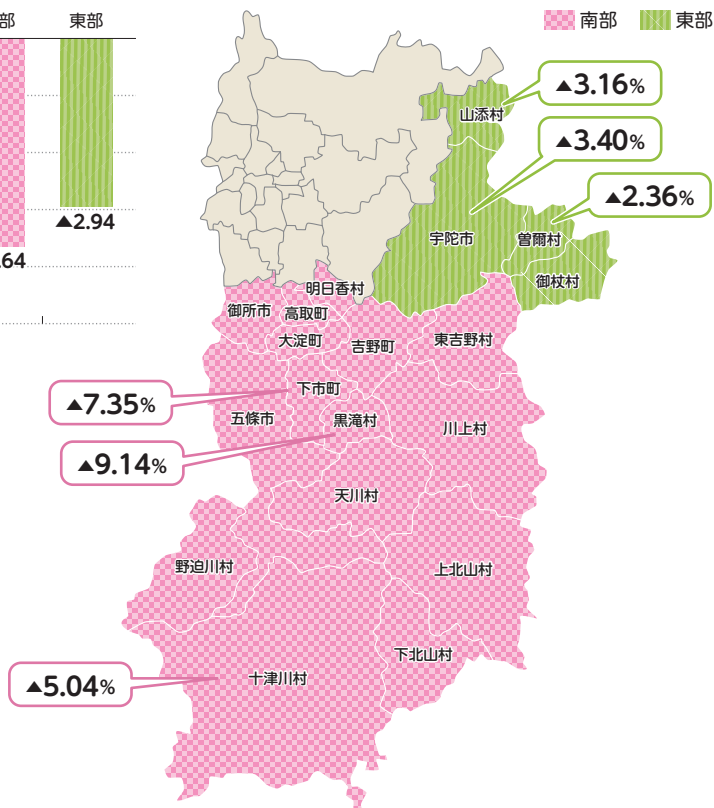
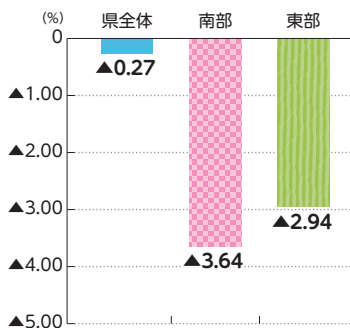
2019(R1)年から2024(R6)年の5年間の人口の社会増減率は、県全体が▲0.27%、南部が▲3.64%、東部が▲2.94%と、減少率が南部、東部ともに県全体より大きくなっています。

南部・東部地域のすべての市町村で、減少となっており、市町村別で減少率が大きい順でみると、南部は、黒滝村(▲9.14%)、下市町(▲7.35%)、十津川村(▲5.04%)、東部は、宇陀市(▲3.40%)、山添村(▲3.16%)、曾爾村(▲2.36%)の順となっています。

人口の社会増減率(2019(R1)年～2024(R6)年)

資料：県政策推進課「奈良県推計人口年報」

(算出方法 2019(R1)年10月1日から2024(R6)年9月30日までの(転入者数-転出者数)
/2019(R1)年10月1日現在推計人口)





就業率

就業率は、南部、東部ともに県全体を下回る



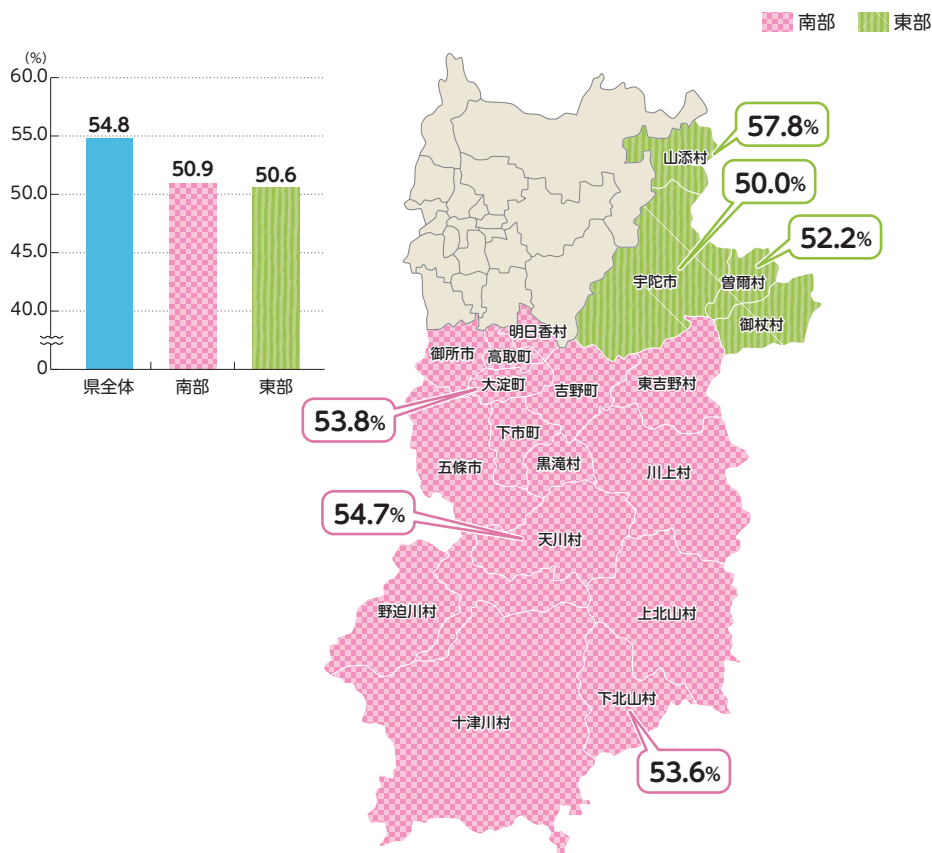
CHECK 2020(R2)年10月1日現在の就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)は県全体が54.8%、南部が50.9%、東部が50.6%で、南部、東部とも県全体を下回っています。

市町村別の就業率上位3位をみると、南部は、天川村(54.7%)、大淀町(53.8%)、下北山村(53.6%)となり、東部は、山添村(57.8%)、菅爾村(52.2%)、宇陀市(50.0%)の順となっています。

一方、御杖村(45.3%)、黒滝村(46.0%)などの就業率が低くなっています。

就業率(2020(R2)年10月1日現在)

資料：総務省統計局「国勢調査」





汚水処理人口普及率

南部・東部の汚水処理人口普及率は約78.6%



2024(R6)年度末現在の汚水処理人口普及率は県全体で91.7%、南部で79.9%、東部で76.2%となっています。

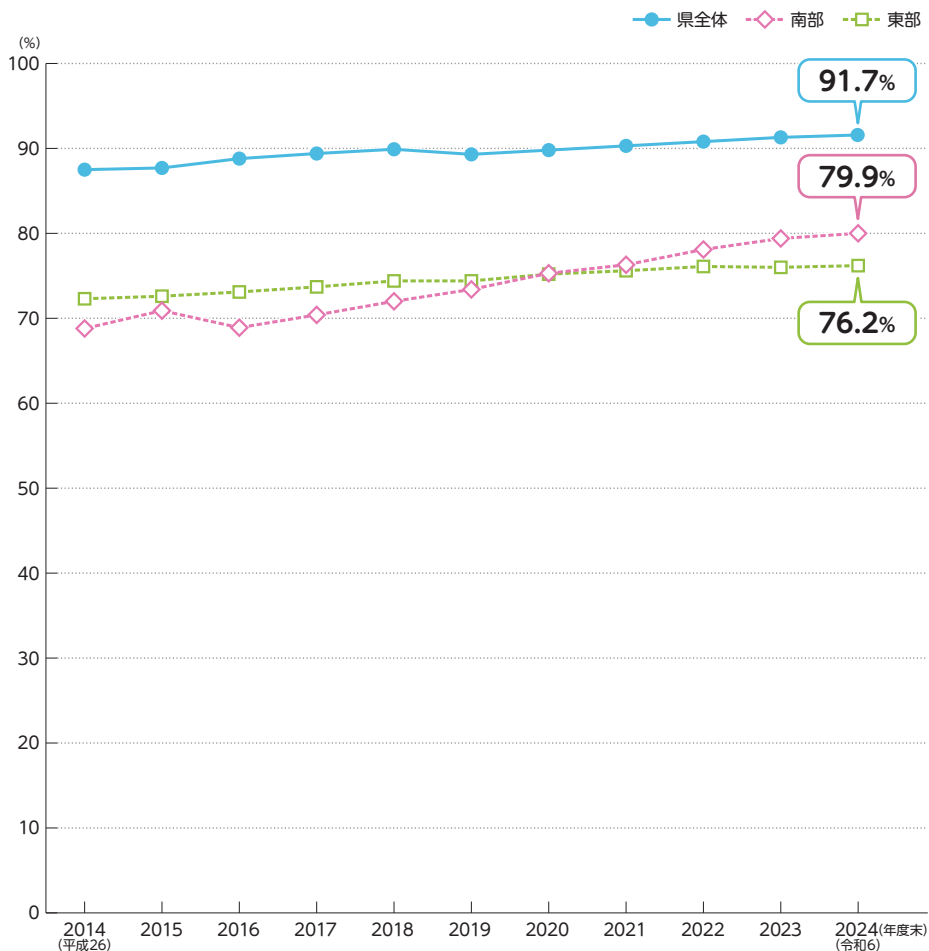
●汚水処理人口…下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽、コミュニティ・プラントの処理人口。

※ この頁では、南部に御所市、高市郡を含まない。

汚水処理人口普及率の推移

資料：県下水道マネジメント課

(算出方法 汚水処理人口/総人口(住民基本台帳人口による))





持ち家比率

持ち家比率は、南部、東部ともに県全体を上回る



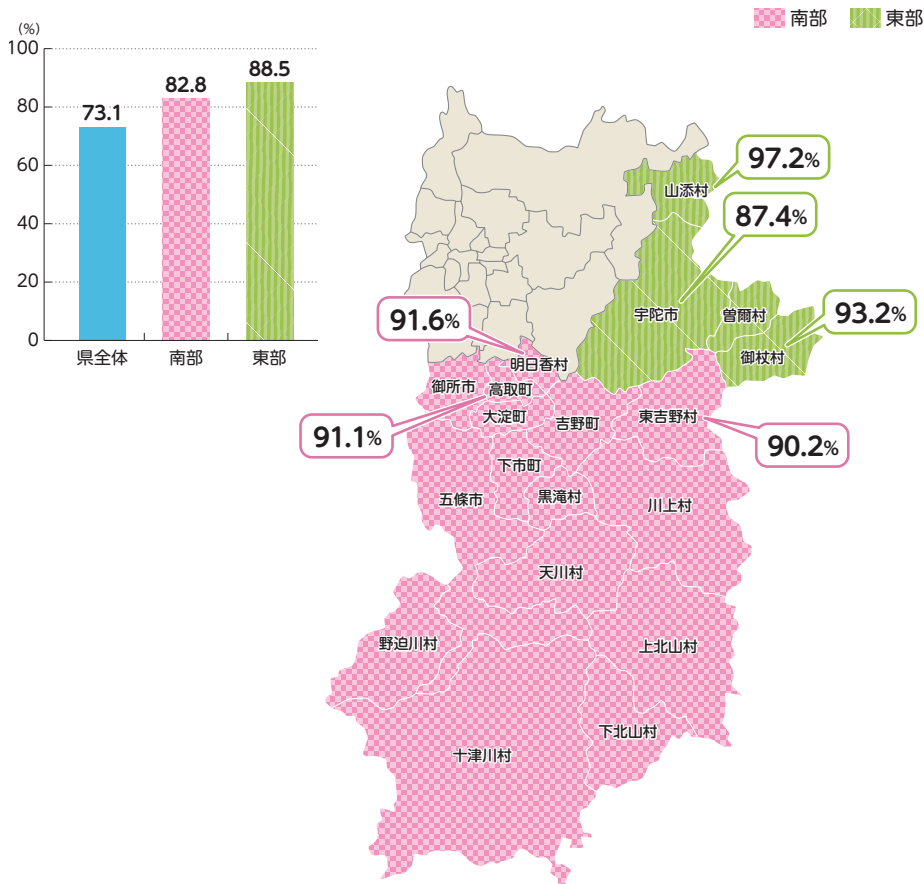
2020 (R2) 年10月1日現在の持ち家比率は、県全体が73.1%、南部が82.8%、東部が88.5%で、南部、東部ともに持ち家率が県全体を上回っています。

市町村別の上位3位をみると、南部は、明日香村(91.6%)、高取町(91.1%)、東吉野村(90.2%)となり、東部は、山添村(97.2%)、御杖村(93.2%)、宇陀市(87.4%)の順となっています。

持ち家比率(2020(R2)年)

資料：総務省統計局「国勢調査」

(算出方法 持ち家世帯／住宅に住む一般世帯)





人口10万人当たりの病院病床数(南部・東部)

人口10万人当たりの病院病床数は、南部が県全体を上回る

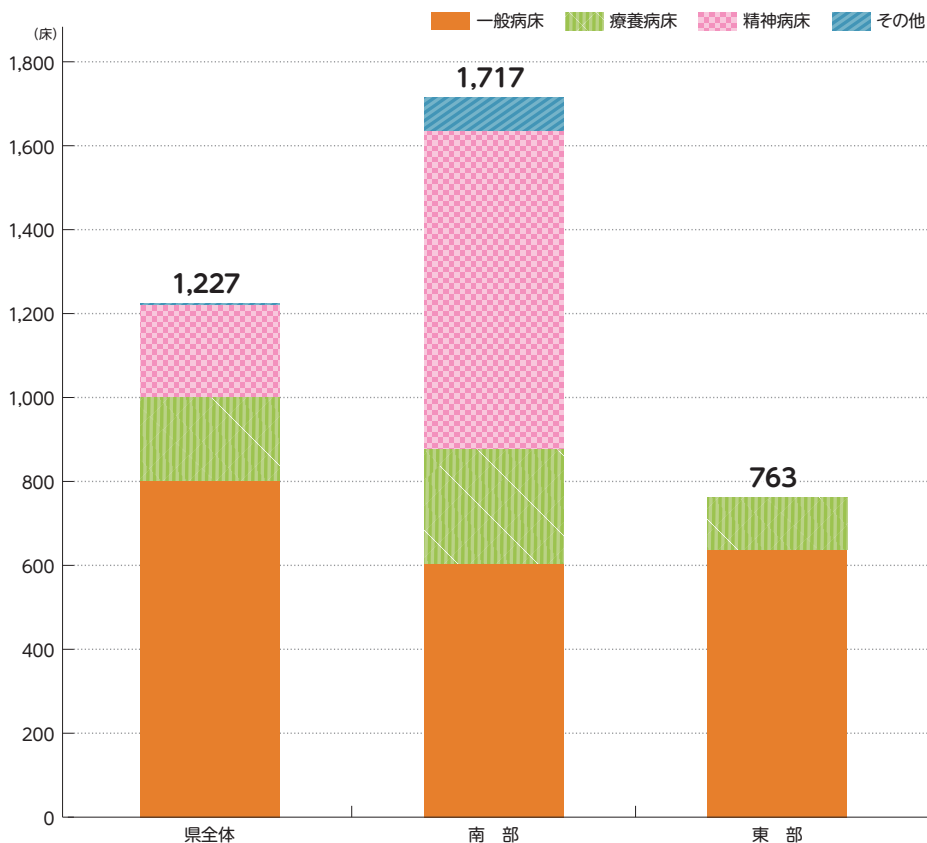


2023(R5)年10月1日現在の人口10万人当たりの病院病床数は、県全体が1,227床、南部が1,717床、東部が763床で、南部は県全体を上回っていますが、東部は県全体を下回っています。

病院病床数ゼロの市町村は、南部では、明日香村、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村および東吉野村となっています。東部では、山添村、曽爾村および御杖村となっています。

人口10万人当たりの病院病床数(2023(R5)年10月1日現在) 資料：厚生労働省「医療施設調査」

(算出方法 各種病床数／総人口)





観光客数

2023(R5)年の観光客数は、2022(R4)年に比べ南部・東部地域全体で増加。県全体に占める割合においては減少。

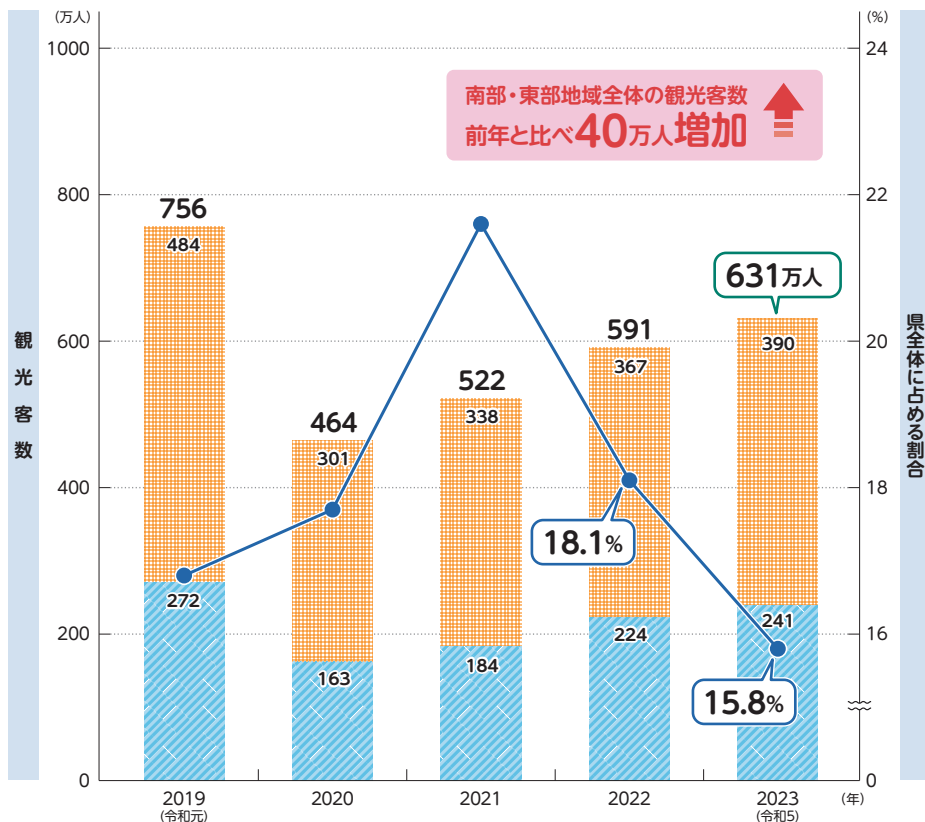


2023(R5)年の調査では、南部・東部地域全体の観光客数は、2022(R4)年の591万人から40万人増え(6.77%増)、631万人となりました。県全体に占める割合は、2022(R4)年の18.1%から2.3ポイント減少し、15.8%となりました。

観光客数

資料：県観光戦略課「奈良県観光客動態調査」を一部加工集計

■ 観光客数(南部) ■ 観光客数(東部) ● 県全体に占める割合(南部・東部)(右目盛)





延べ宿泊者数

2023(R5)年の延べ宿泊者数は、2022(R4)年に比べ南部・東部地域で増加。県全体に占める割合は減少。



2023(R5)年の調査では、南部・東部地域の延べ宿泊者数は、53万人となりました。県全体に占める割合は、2022(R4)年の20.2%から2.2ポイント減り、18.0%となりました。

※1 この頁では、南部には東吉野村を含まない。東部には東吉野村を含むが、山添村を含まない。

※2 四捨五入の関係で、端数において一致しない場合がある。

延べ宿泊者数

資料：県観光局「奈良県宿泊統計調査」

